整形外科を受診している患者さんへ

当院では，下記の研究を実施しています。この研究は，愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され，研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は，対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく，研究内容の情報を公開し，研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく，個人情報の開示を希望される場合，研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は，以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は，他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	寛骨臼移動術（Spherical Periacetabular Osteotomy）における骨切り計画の標準化に関する臨床的および工学的検討
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院　病院長　天野哲也
研究責任者	愛知医科大学医学部整形外科学講座　准教授　森島 達観
研究の対象となる方	愛知医科大学病院で 2019 年 7 月 1 日から 2030 年 6 月 30 日までに寛骨臼移動術（SPO）を受けた患者
研究期間	研究実施承認日　～　2030 年 12 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 我々が考案した、Spherical Periacetabular Osteotomy（SPO）における骨切り計画を 3 つのゾーンに幾何学的に定義する Three Zone Planning（3Z）は、術前計画の手法として通常診療に用いられています。本研究は観察研究として、既存症例に加え以後の通常診療下で施行された症例を手術完了後に集積し、(1) 寛骨臼被覆・傾斜・内方化および脚長差（LLD）などの画像学的指標と合併症、(2) 3Z 設計の生体力学的合理性（再配向の方向・量と接触様式の整合性）、(3) 既存の CT/画像データに基づく人工知能による計画自動化の実現可能性と再現性（in silico 解析）を包括的に検証することを目的とします。 〔利用方法〕 得られた結果は、今後の診療および研究に役立てます。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当（新たに採取される検体はありません） 情報：診療録（カルテ）、手術記録、画像検査（X 線、CT、MRI 等）、検査データ（血液検査、骨密度、骨代謝マーカー）、股関節機能スコア（JOA score、JHEQ）、合併症の有無
提供する試料・情報を用いる学外の研究	非該当

責任者	
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への診療情報の利用を希望されない方は、2030 年 9 月 30 日までに電話・郵送等により下記問い合わせ先までお申し出ください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部　整形外科学講座 担当者：准教授　森島達観 〒480-1195　愛知県長久手市岩作雁又１番地１ 電話 0561-62-3311（内線 22125）